

長野県環境審議会への中間報告 (R4.9.20) における委員意見及び対応

No.	意見の内容	対応 (回答)
1	<p>(宮下委員)</p> <p>多岐にわたる分野に触れており、バランスの取れた計画である。生態系の保全は新たな追加事項として評価できる。ヒシの大量繁茂や土砂流入による水深変化等の点からも、生態系には影響を与えており、水質も多方面から影響を受けなので、本計画はよいと思う。</p> <p>生態系の点について具体的な施策は、農政部や水産試験場諏訪支場と連携してより具体的に記載して欲しい。</p>	<p>水質保全計画ではあるが、生態系保全に踏み込んだ記載としている。</p> <p>今年度、諏訪湖創生ビジョンの改定も同時に進めているので、連携しながら具体的な施策を記載する。</p>
2	<p>(宮下委員)</p> <p>大和側の東側 (ヒシが繁茂しているところ) は水深が浅くなっている。浚渫は水質改善につながると考えるが、どのように考えているか。</p>	<p>覆砂対策の効果はシミュレーションにより予測を行っている。浚渫についてもシミュレーションにより影響の程度は予測できる。</p>
3	<p>(大和田委員)</p> <p>昔は多くの魚種がいたが、最近漁獲量も減少している。内水面漁業の再生計画等、農政水産部と一緒の取り組みを入れてはどうか。</p>	<p>水産試験場諏訪支場と連携しながら本計画は作成している。諏訪湖創生ビジョン改定においても諏訪地域振興局が対応しており、漁獲量増加に向けた対策を検討している。</p>
4	<p>(打越委員)</p> <p>最終的に諏訪湖をどうしたいのかがわかりにくい。P.8の長期ビジョンについて、冒頭で触れてもよいのではないか。</p>	<p>第1章、1の文章を以下のとおり修正 「このような状況を踏まえ、<u>諏訪湖の目指す姿として「人と生き物が共存し、誰もが訪れたいくなる諏訪湖」を掲げ、<u>諏訪湖の水質保全対策を進めるとともに、・・・第8期湖沼計画を策定しました。</u></u>」</p>
5	<p>(打越委員)</p> <p>p.14 (3) ①家畜排せつ物の適正管理と利用の促進は、農政課等との連携も必要である。水質保全計画策定にあたり、他部局との調整を行った成果を最終報告時に示して欲しい。</p>	<p>水質汚濁事故などがあった場合は、必ず環境課と農政部局と一緒に立入するなど、十分連携しているが、農政部局との連携は非常に重要と認識しており、今後も努めていく。</p>

No.	意見の内容	対応（回答）
6	<p>（打越委員）</p> <p>人に向き合う行政に取り組んで欲しい。地域住民を巻き込むコミュニケーションを取り、その結果を水質保全計画に記載してほしい。</p>	<p>諏訪湖地域に熱い思いをもって、この計画を策定していく。</p>
7	<p>（梅崎会長）</p> <p>水質保全計画が完成したら、シンポジウムを開催して周知してはどうか。</p>	<p>諏訪湖創生ビジョン推進会議でそうした取組を実施しており、今後の周知についても検討したい。</p>
8	<p>（宮原委員）</p> <p>p.19（6）①普及啓発では、県 H.P.や各種会議で研究成果や情報を提供するとしているが、諏訪湖は観光地として県内の住民も訪れている。環境保全についてのスローガンを掲げてはどうか。</p>	<p>諏訪湖創生ビジョン推進会での取組として、今後、検討したい。</p>
9	<p>（宮原委員）</p> <p>学習活動の推進に環境学習という言葉がないので、入れて欲しい。</p>	<p>追記する。</p>
10	<p>（太田委員）</p> <p>刈り取ったヒシは有効活用しているのか。</p>	<p>現在刈取りしたヒシは全て堆肥にしている。</p>
11	<p>（新芝委員）追加意見</p> <p>農政部が積極的に環境・観光部署との連携を図るようお願いしたい。</p>	<p>農政部局との連携は非常に重要と認識しており、今後も努めていく。</p>